

■阪神高速グループの求める技術 重点項目

【タイトル】：気象・防災情報の既存システムへの取り込みに関する技術
【背景・課題】：現在、高速道路上に気象観測装置や地震計等の設備を設置し気象・防災情報を取得しているが、情報取得の効率化・高度化のため、気象庁や一般的に公開されているデータの既存システムへの取り込みに関する技術を求めるもの。 情報の取り込みにより、現在設置している各設備数の削減や、既存設備での取得データと公開データの差異の比較による誤差の補完の可能性がある。また、情報の取得のみでなく、予測情報の活用についても検討したい。
【ゴール・目標】： 既存システムへの情報取り込みによる効率的かつ高精度な気象・防災情報取得
【実現イメージ】： 都市高速道路を建設・管理する総合的な技術 将来にわたる使用のための管理・更新手法の実現
【取組み】： IoT、3次元モデル、ロボット等の新技術を活用して維持管理を高度化・効率化
【対象設備－対象構造物】： 電気通信 - 電気通信
【業務分野】： 維持管理

(2025年7月時点)